

**2024年度第一回ダイヤモンドコンソシアム
再生可能エネルギー等イノベーション共創プラットフォーム（CIREn）
ダイヤモンドマイクロ波デバイス研究分科会**

2022年からダイヤモンド技術検討委員会として、企業様や国立研究機関様とダイヤモンド半導体研究の情報交換の場として活動してまいりましたが、2023年度より、佐賀県のCIREn活動の一部として、拡大して、スタートとすることになりました。

今回は、ダイヤモンドのエピタキシャル結晶成長技術と CMP 等の表面処理技術に長年取り組まれてきた第一人者のお二人の先生方に、お越しいただくことになりました。

会員の皆様には、現地およびオンラインで参加いただけます。以下をご参考の上お申込みください。

日 時 2024年7月12日（金）午後1時から

場 所 佐賀大学理工学部5号館南棟2階 217室（本庄キャンパス）

（参加人数により変更になる可能性があります）（オンラインでも参加可）

申込必要事項 ①企業・団体名 ②参加者氏名 ③連絡先 ④電子メールアドレス

⑤会場、又はWEB（選択）

申込期限 会場参加 2024年7月9日（火）、

オンライン参加 2024年7月11日（木）、URLは電子メールで前日までに送付予定

参加費は無料ですが、CIREn会員様のみ参加できます。事前登録が必要です。

申込先 CIREn事務局（E-mail：info@ciren.jp）

13:00-14:10 澤邊厚仁先生（青山学院大学名誉教授）

題 目 気相成長ダイヤモンド研究の歴史と青山学院大学での研究開発の纏め

要 旨 講演者の履歴、人工ダイヤモンド研究開発の歴史、青山学院大学での気相成長ダイヤモンド研究開発の纏めに関する講演を行なう。講演者の今後の研究開発についても、時間の許す限り紹介する。

14:30-15:40 會田英雄先生（長岡科学技術大学准教授）

題 目 大型ダイヤモンド基板の実現に向けた課題～結晶成長と加工の両面から～

要 旨 ダイヤモンドヘテロエピタキシャル成長法は、大型ダイヤモンド基板実現の可能性を秘めている。産業化に向けた今後の課題を、当グループの最新の研究アプローチの紹介とともに述べる。また、得られたダイヤモンド結晶は、基板へと加工しなければ使用できないことから、加工開発の重要性にも言及する。先行する他の結晶基板材料加工技術と比較しつつ、ダイヤモンド基板加工の現状と課題を整理する。

※ 録画、録音、無断複製は固くご遠慮ください。

問い合わせ先

嘉数 誠（佐賀大学理工学部、kasu@cc.saga-u.ac.jp, 0952-28-8648）

次回開催予定 2025年1月下旬 第2回ダイヤモンドコンソーシアム、第4回ダイヤモンドデバイス国際ワークショップ